境町歴史民俗資料館だより

河岸町の歴史

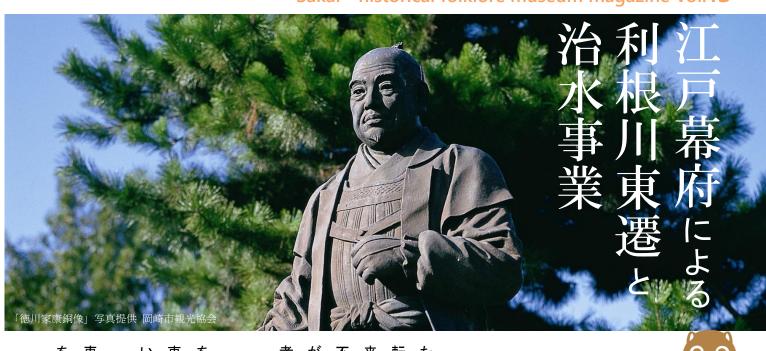
## MUSEUM5

利根川東遷と治水事江戸幕府による

業

A

K



# 徳川家康はいかにして関東平野を開拓したのか?

1603 (慶長八)年に江戸に入った徳川家康は、豊臣秀吉の江戸た徳川家康は、豊臣秀吉の江戸、村以転封命令によって江戸入府以転封命令によって江戸入府以転対命をが住める肥沃な土地にするかをが住める肥沃な土地にするかを

を探し当てたのです。これが二恵まれた温暖な土地「関東平野」を知るため、鷹狩りと称して関東一帯の徹底的な現地調査を行った大で、肥沃で、豊富な水源に一広大で、肥沃で、豊富な水源に関東十二のでは、

ることとなりました。百年続く徳川の天下を磐石にす

府以 する劣悪な土地だったのです。 川は、隅田川から江戸湾に注い 一 根川と荒川の二大河川が江戸湾 に流れ込んでいたため、極めて でいた暴れ川で、利根川の中下 根川と荒川の二大河川が江戸湾 に流れ込んでいたため、極めて がました。当時の関東平野は、利 川は、隅田川から江戸湾に注い でいた暴れ川で、利根川の中下

個川家康 国土プランナ

そのため、家康は利根川を江 で、水はけを良くすることによって肥沃な水田地帯を造成する 国土プランナーを推進したので 国土プランナーを推進したので 国土プランナーを推進したので は、水はけを良くすることによ

。 外堀の見地から、利根川を鬼怒・を磐石にす 運(舟運)、飲み水の確保、江戸の

画しました。

川の流路に入れる東遷工事を計

忍城 (現在の埼玉県行田市) の この重要な大土木事業の工事責 そのため、武蔵国の川俣(現在の 初の一歩だったのです。 りこそが、 せました。この会の川の締め切 主に任命し、 任者として、 締め切り」といわれる河川工事 埼玉県羽生市北部)で「会の川 地帯を乾陸化することでした。 東地方を乾陸化させる重大な最 と関東地方の新田開発に専念さ 根川流域を一つに絞りました。 を行い、二つに分かれていた利 康が行った工事が関東地方の湿 |594(文禄三)年、 一大湿地帯である関 四男の松平忠吉 利根川の治水事 はじめに 業 城 を の 家



す。

れ した。 Ш との闘いを本格的に始めていま 大な新田を獲得するための自然 朝 で石田三成率いる西軍との戦 に勝利した家康は、1603 年には |600 (慶長五)年に関が原の合戦 を銚子から太平洋に流 廷 豊臣秀吉が亡くなった後、 徳 【から征夷大将軍に任じらせいらん せいいたいしょうぐん この頃から利根川の暴れ Ш 氏の覇権を確立させま 広

す。

に利根 たのです。こうして 1621(元和 名を動員し、 の権限によって日本全国の およそ1 を利用して大土木事業を再開 お手伝い普請制度を設け、 七)年、現在の栗橋と関宿との間 1604(慶長九)年、 ĴΠ と西の流域を結ぶ長さ km の 大名の財力や人材 赤堀川が開通した 徳 Щ 家康は 諸大 幕府 流には渡良瀬遊水地などが設

川は江戸をバイパスして太平洋 たって実施され、 年と 1654 (承応三) 年と二度に ようになりました。さらに、 と流れるようになったの こうした下総台地の開削によ の拡幅工事は、1625(寛永二) て、 銚子から太平洋へと流れ 利根川が常陸川とつなが 本格的に利根 赤堀 で

Ш

じく、 した。江 政 府 流に藤原ダムや八木沢ダム、 Ш 年には赤堀川 徳川家斉の時代の 1809(文化六) に甚大な被害をもたらしてい 域では洪水が頻発し、 が変わっても自然の猛威は凄 に拡幅されています。 の治水事業は明治・大正・昭 しかしながら、 へと受け継がれ、 利根川 江戸時代後半、 が 下流域となった 4 0 利根川 間 以降、 利根川 住民生活 11 代将軍 の流路 利 m 根 地 上 和 ま ま

(境町歴史民俗資料館 野村正昭 られています。

### さかいの街道を

### 日 光 東 街 道と境河岸



### 船戸閘門前車庫 ふなとこうもんまえしゃこ

年代不明

大正10(1921)年に営業を開始した乗り合いバス停留所の様子です。古 河から境までを1日4回往復し、運賃は片道1円20銭(現在の価値でおよ そ4000円)でした。こうした乗り合いバスの運行開始は境町における自動 車普及のきっかけになりました。

境町歴史民俗資料館では現在、境の歴史を広く皆様に知ってもらい、資料館を利用しやすい環境に整えるための取り組みとして、資料館運営ボ ランティア「下総さかい河岸の会」のメンバーを募集しています。

かつて宿場町として栄えた境町・境河岸の歴史を楽しく学びながら、町史編纂委員、学芸員と一緒に資料館運営に携わってみませんか。 詳しくは境町歴史民俗資料館までお気軽にお問い合わせください。(TEL:0280-81-3353)

### 境町歴史民俗資料館

〒306-0431 茨城県猿島郡境町西泉田 1326-1

TEL 0280-81-3353 TIME FAX 0280-81-3354

[入館料] 無料

[休館日]○月曜日○年末年始(12/28~1/4)

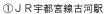
[開館時間] 午前9時~午後4時30分

〇祝祭日(土・日曜日は開館しています) ○日・月曜日を含む連休最終日の翌日



国道4号バイパス周辺 塚崎交差点(境町)から約15分

圏央道 境古河 | Сから5分

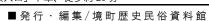




⇒朝日バス「境車庫~釈迦~古河駅西」乗車、約40分 ⇒「中学校入口」下車、徒歩約20分 ②東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線)東武動物公園駅

⇒朝日バス「境車庫ゆき」乗車、約40分 ⇒「中学校入口」下車、徒歩約20分

■境町歴史民俗資料館だより 河岸町の歴史 第 13 号



●境小 至国道354号

長田小

●境工事事務所

歷史民俗資料館

●町民体育館 至